

[第 114 回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和3年4月

NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和3年5月9日(日) 15時～17時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89)
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・西晋一郎通釈『中庸解・通釈』第 24 章 p.318～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

いつもありがとうございます。

本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

4月3日(土)午後、安曇川公民館で第113回の塾を開きました。

今回は『中庸解』第23章です。「その次は曲に致る。曲なればよく誠あり。誠あれば即ちあらわれ……変ずれば即ち化す。唯天下の至誠のみ。よく化することをなす」です。



大意について次の様に説明しました。「前は聖人の誠だったが今回は賢人以下の人の誠。凡夫であっても元来は心に誠が有る。その誠があれば努力すれば表れてくる。さらに努力すればそれが顕著になる。さらに努力すれば欲などの惑いが取れる。さらに努力すれば惑いに阻害されなくなる。さらに努力すれば凡心から聖い心へ変わる。さらに努力すれば物など相手と我との隔たりがなくなり一体化する。そうなれば聖人の域に達するのである」。この章は、凡人でも努力次第で聖人の高い境地に達することを藤樹先生が説明しております。

では、凡人はどういう努力をすればよいのでしょうか。そこで致知 2021.2 号の「東洋教学が導いてくれた世界」を配りました。その中で第 35 代米国大統領のジョン・F・ケネディが「皆さん、国家が自分に何をしてくれるかではなく、自分が国家のために何ができるかを考えましょう」という有名な言葉やリンカーンの「志あるところに道は開く」という言葉、渋沢栄一の「自分は『論語』だけで経営をやってきた」との言葉などを紹介しました。すなわち、自分はこういう方向で社会に貢献するという大きな志を持って努力することだと思います。

参加者からは「いびつな経済と健全な経済をしっかりと認識して健全な経済のために今日学んだことを生かしていきたい」、「他人のことを我がことのように考える人がいるのは凄い」、「フリートーキングでの皆の意見がとても参考になる」、「利益と徳の関係が難しい」等の意見、感想をいただきました。

私からは「利益が上がらないと幸福になり難いが、利益を多く得たからといって幸福になるわけではない。他の幸福を願う心や社会貢献を行う徳を積んではじめて幸福になると思う」と述べました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。